

一番堀通りの自転車指導レーン社会実験

(梶谷小路側)

自転車、歩行者、自動車みんなが安全で
安心して通行できる道路空間を目指します！！

平成
20年

11月20日から

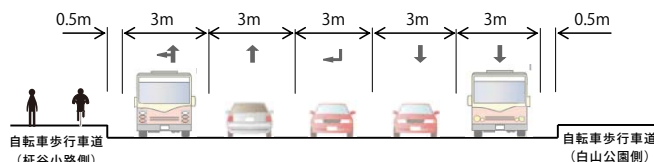
12月23日まで



(イメージ図)

実験前

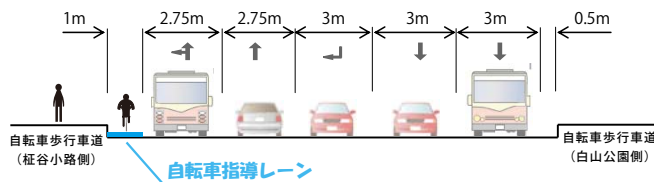
自転車指導レーンを走りましょう！



- 歩道幅員が狭い区間があり、特に朝夕の通勤通学時は歩行者と自転車が混在し危険な状況となっています。
- 車道部は自動車交通量が多い中、自転車の無秩序な車道走行により、接触寸前の状況も見受けられます。

歩行者と自転車の分離、自転車走行位置の明確化

実験中



- 歩行者は安心して歩道を歩くことができます。
- 自転車は走行位置が明確になり、走りやすくなります。歩道上での歩行者との事故防止につながります。
- 車は自転車とのゆずり合いの気持ちが高まり、交通安全につながります。

自転車指導レーンが接続する交差点の横断

自転車横断帯	あり		なし	
	直進方向	右左方向	直進方向	右左方向
通行イメージ				
通行方法	交差点内を自転車通行帯の位置まで迂回して直進。	右折時は信号の状況に応じた方向で2度横断する。	直線的でスムーズな通行が可能	右折時は右回りの二段階右折が必要。左回りの場合は横断歩道を押して通行。
禁止行為	右側(逆走)通行の自転車 } 自転車指導レーンの逆走は禁止 自転車横断帯のみ双方向通行可 } 交差点前後で違いが発生する。			

新潟市自転車を活用したまちづくり推進協議会

●構成団体

(株)サイクルステイにいがた、にいがたレンタサイクル研究会、新潟市上古町商店街振興組合、新潟中央警察署、北陸地方整備局新潟国道事務所、新潟市

●問合せ先

新潟市中央区役所 政策企画課 TEL:025-223-7023 FAX:025-224-1520

新潟島地域の自転車 [走行&駐輪] 環境の創出社会実験

目的

本社会実験では自転車指導レーンや案内看板等を試験的に設置し、自転車、歩行者、自動車が共存できる安全な自転車走行環境の整備の有効性や課題を検証するものです。また、自転車の利用促進やまち中の自転車による利便性や回遊性の向上と賑わいのあるまちづくりを推進することも目的の1つとしております。

実験の紹介

「一番堀通りの自転車指導レーン（裏面を参照下さい）」の他に下記の2つの実験を実施します。



新潟島一周自転車道の案内看板等の設置

【実験期間】平成20年11月20日～平成21年1月30日

【概要】

新潟島の海岸、信濃川沿いを南北に走る「新潟島一周自転車道 延長約15km」を新潟島の外周ネットワークとして機能させるため、この路線がわかりにくい場所等に案内看板、路面標識を設置します。

路面標識は、萬代橋から左回り（みなとびあ方向）に500m間隔で、以下のマークを路面に設置します。



※新潟島一周自転車道路面標識

民営駐車場等の駐輪場化とパーク&ライド

【実験期間】平成20年12月1日～平成21年1月30日

【概要】

① 「東堀パーク600」、「タキザワガレージ東堀」、「アルモにしほり」の不稼働スペースに、サイクルラック等を設置して駐輪場化します。加えて、自動車と自転車によるパーク&ライドの推進も試みます。

② 上古町商店街の空き店舗等の計4箇所を活用した駐輪場化も実施します。

お店の協力により、景品が当たるアンケート付き案内をしておりますので、是非アンケートにご協力下さい。

自転車利用時の注意点

自転車安全利用五則を守りましょう！！

- ① 自転車は車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側を通行
- ③ 歩道は歩行者優先、自転車が歩道を通行する場合は車道寄りを徐行
- ④ 安全ルールを守る
 - 飲酒運転は禁止
 - 夜間はライトを点灯
 - 二人乗りは禁止
 - 信号を守る
 - 並進は禁止
 - 交差点での一時停止と安全確認
- ⑤ 子どもはヘルメットを着用

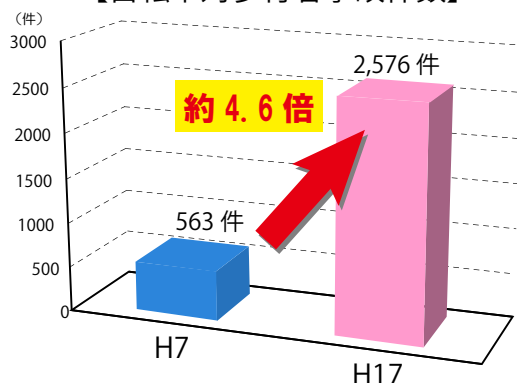
自転車安全利用五則以外にも

- ・傘差し運転や携帯電話を使いながらの通行は止めましょう。
- ・迷惑駐輪が増えています。自転車は決められた場所に止めましょう。

【自転車と歩行者との事故が急増中】

10年で約4.6倍も増えています

【自転車対歩行者事故件数】



出典：「交通事故統計年報（平成7年度版、及び平成17年度版）」
（財）交通事故総合分析センター